



JASDAQ

平成17年11月15日

各 位

会 社 名 株式会社協和日成
代表者の役職名 代表取締役
社 長 北村眞隆
(JASDAQ・コード番号1981)
問い合わせ先 執行役員
経理部長 佐々木秀一
T E L 03-3464-0121

平成18年3月期中間および通期の業績予想の修正について

平成17年5月27日付当社「平成17年3月期決算短信」において発表いたしました平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)中間および通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

中間期(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	13,000	150	50
今回修正 (B)	11,619	16	65
増減額 (B - A)	1,381	166	15
増減率	10.6%		30.0%

通期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	30,500	500	200
今回修正 (B)	29,500	200	100
増減額 (B - A)	1,000	300	100
増減率	3.3%	60.0%	50.0%

2. 修正理由

- (1) 当中間期は、売上高13,000百万円、経常利益150百万円を計画しておりましたが、国内景気全般における踊場からの緩やかな回復持続傾向に対して、当業界は引き続き熾烈な受注競争下にあり、受注工事単価の下落とそれに伴う採算の悪化により、
売上高11,619百万円(前回予想額との差異 1,381百万円 10.6%減)
経常利益 16百万円(前回予想額との差異 166百万円 減)
中間純利益 65百万円(前回予想額との差異 15百万円 30.0%増)
となる見込です。
- (2) 下半期については、原油価格の動向が内外経済に与える影響が懸念されるものの、景気回復が続くと見込まれますが、当業界における厳しい状況に大きな変化はないものと思われま。業種柄、下半期の売上高は上半期に比べて多いとは言え、低調に推移すると見られ、売上高は17,881百万円、経常利益は216百万円を計画しています。
- (3) 従って、平成18年3月期通期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)としては、売上高29,500百万円、経常利益200百万円、当期純利益100百万円を予想しています。

3. 参考：前期の実績

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
中間期(16/4~16/9)	12,372	43	29
通期(16/4~17/3)	30,041	259	276